

# 田中康夫

今月の憂いゴト

新国立競技場の建設から、大阪都構想の投票結果、安保法案の審議の行く末、フランスの食品廃棄まで！

東京・千駄ヶ谷にある河出書房新社のビルの屋上。見下ろせば、国立競技場の解体工事が行われていた。屋根をつける、つけない、500億円を出す、出さない、もめごとを抱えたオリンピックスタジアムの建設に、田中・浅田両氏は呆れてものも言えない様子。

photographs by Hiroshi Takaoka text by Kentaro Matsui

# 浅田彰



# 憂国呆談

season 2 VOLUME 61

## あのデザインから屋根が消える？ どうなる新国立競技場。

浅田 何度も話してきたけど、河出書房新社のビルの屋上から国立競技場の解体工事の様子を見せてもらったんで、あらためて東京オリンピック問題を考えようか。

田中 浅田さんは高いところも平気なんだね。僕は高所恐怖症だから足がすくくんじやったよ(笑)。

浅田 2016年オリンピック東京案(安藤忠雄)は、国立競技場等の古い施設を活用し、晴海埠頭につくる競技場等の新しい施設で補いながら、コンパクトかつエコロジカルなオリンピックを目指すものだった。それが落選した段階で日本は招致活動を止めればよかったのに、トルコの政情不安やスペインの財政危機で図らずも2020年オリンピックが東京に決まっちゃったため、適当にでっち上げた案で急いでやるほかなくなっちゃったわけだ。国立競技場は昭和18年に出陣学徒壮行会が催された場所、そこで1964年東京オリンピックが開かれたんで、みんなが感動した。そんな歴史的モニユメントを右翼政権が不用意に壊しているのか(笑)。

田中 新国立競技場建設費の一部となる500億円を都が払う、払わないで外添要一都知事と下村博文文科相がもめているけど、「マッカーサー道路」と称する環状2号線をオリンピックまでに全通させるには築地市場の解体開始を早めなければならぬので、土壌汚染問題で紛糾していた豊洲新市場も来年11月開場が至上命令らしい。ところが隣接する観光施設「千客万来」の開発事業者として契約した寿司チェーンの「すぎさんまい」は採算性を理由に撤退を表明

して、こちらも問題山積。

浅田 猪瀬直樹前都知事はオリンピック命だったから500億円くらい出すって言ったかもしれない。外添は猪瀬のオリンピックを引き継ぐのがイヤなんだったら「オリンピック返上」を宣言すればいいんで、やる以上はホストとして具体的な案を出さなきゃ。

それにしても、新国立競技場のコンペはまともじゃなかった。本来は半年くらいかけてつくった詳細な設計案を審査するべきところ、2か月で大雑把な案を出させて審査したんだからね。選ばれたザハ・ハデイドも「デザイン監修」ってことになってるから、実際は日本のゼネコンがやっちゃうってことなのか。ともあれ、流体力学的なデザインの屋根がザハ案の見所だったんで、下村の言うように屋根なしでいくんじやザハ案を選んだ意味がない。

田中 洋服にしてもデザイナーだけじゃなくて、優秀なパタンナーがいるってことを立体的なカタチになる。なのに、構造のチェックも採算性も、全部抜け落ちていたとはイヤハヤ。「フクイチ」の迷走に象徴されるように法治国家が放置国家になって、それを問題視しない呆痴国家の民度ならぬ「眠度」なのかと我々は嘆いてきたけど、最近の日本は事故続きのJRB北海道を笑えない事象が、政治でも経済でも相次いでいて、しかもそれが大手を振って罷り通っているのだから始末に負えない。

一人ひとりがマイスターとしての「勤性」というか「地頭」を持ち合わせていれば当然、気づくはずの観点が、今回もすっぱり

抜け落ちてしまっている。なのに、それを

少しでも認めると、安藤忠雄を筆頭に多方面で責任問題になるからザハ・ハデイド一人を戦犯にしようという醜悪なババ抜きが行われつつある。積極的に発言を続ける建築家たちも、コンペの応札資格がどうか、形式知のレベルで指摘しているのは残念。芸術家としての、もう少しパースペクティブを感じさせる論戦が以前なら期待できたのだろうけど、

ここでも劣化が激しい。なあって愚痴ることさえ徒労感が否めないとは、いやはや。

浅田 丹下健三による64年オリンピックの国立代々木競技場は建築史に残る傑作で、吊り橋の技術を応用してワイヤーで屋根を吊っている——それも、シャープな形になるよう鉄板を吊ることにし、一つ一つの鉄板の形は原寸

大で決めていっているんだからね。直前に開通した東海道新幹線と並んで、日本の戦後復興の頂点と言っている。対して、今回は、国際的スターであるザハの派手なデザインなら看板としていいだろうという浅薄な判断が見ええ。

田中 「旧」国立競技場が壊されてポツカリと空いた光景は、これから産廃が運び込まれる処分場のよう映ったよ。ドイツと並んでモノ作り産業の雄だった日本の今回のドタバタは、競技場建設が遅れに遅れているブラジル

うんだけどね。

ほぼ無事故で東海道新幹線を完成させた、あの頃の力は今の日本にないのかもしれない。いずれにせよ、ザハには違約金を払って、もう一回設計からやり直すべき。そして、会場の観客10万人だけでなくTVやネットの前の世界中の10億人に印象深い開閉会式とすべく二重橋前に数席を設けて実施せよという磯崎新が示した皇居前広場プランを実行に移すべき。

浅田 そう、スポーツと関係ないイヴェントは別の場所でもやり、スタジアムは規模を縮小してザハに設計し直してもらおうしかない。あと、スポーツの祭典に徹するって意味では、プロスポーツのTV中継枠に空きが多い8月じゃなく、64年と同じ10月に開催すべきだよ。

田中 そのとおり。「パートナー」として巨額の契約金を支払う大半の企業は日本に本社を置いているのだから、それを条件にするのがタフ・ネゴシエーターだよ。今年も5月の真夏日に熱中症で倒れる人が続出した。8月にマラソンだなんて正気の沙汰とは思えない。そもそも、選考会となるマラソンの大会はすべて秋から冬に行われているんだよ。二百歩どころか二万歩譲って真夏に強行するならば、7、8月に選考会を開いて夏に強い選手を選ばないと、論理的にも整合性がとれないぜ。

浅田 それにしても、1964年と2020年の落差には愕然とするほかないね。ザハのスタジアムが仮にできたとして、それが未来に一体どう評価されるか。

### 都にする必要はあった？ 橋下市長、大阪都構想を断念。

浅田 橋下徹大阪市長の掲げる「大阪都構



想」が住民投票で否決され、橋下は任期満了後の政界引退を表明した。

田中 大阪府には大阪市と堺市の2つの政令市があって、予算規模を比較すると、大阪府の一般会計当初予算は今年度3兆2886億円、大阪市と堺市の合算は2兆938億円。さまざまな権限が移譲されている政令市は、知事にとっては実に「難儀」な相手です。例えば大阪府本庁舎前の上町筋という府道も、キタの梅田とミナミの難波を結ぶ御堂筋(国道25号線)の維持管理も、府を飛ばして大阪市に移管されている。2008年に府知事に就任した橋下は、そんな二重行政の弊害云々以前のメンツの問題として、打倒「目の下のたんこぶ」に燃えたのかもしれない。

「ONE OSAKA」を訴えた当初はそれなりに大阪府民の共感を得た。でも、彼が就任後の7年間で、大阪府は財政力指数も経常収支比率も悪化。実質公債費比率も18パーセントを超え、地方財政法の規定に基づき、総務大臣の許可なしでは地方債が発行できない。禁治産者”状態に陥ってしまったっているんだ。こんな分かりやすい羊頭狗肉な「改革」を、彼のツイッター口撃にビビって報じないメディアはヘタレそのもの(涙)。利息の支払いだけで1日1億4200万円と全国ワースト2位だった山国での在任6年間、全国の都道府県で唯一、毎年連続で借金を計923億円減らし、基礎的財政収支も毎年黒字とする一方で小学校30人学級を全国で最初に全学年に導入した僕からすれば、お口あんぐりだよ。

「大阪都構想」を掲げた11年のW選挙で橋下は大阪市長に、舎弟”の松井一郎が知事に当選するんだけど、少し冷静に考えてみれば、市長に当選したウラジミール・プー

チンと府知事に当選したドミトリー・メドベージェフを連想させる2人の首長のもとで府と市が共闘・協調すれば、納税者への顧客サービスの向上は簡単に図れたはず。両者が合併せずとも阪神なんば線と近鉄難波線が相互乗り入れを開始し、神戸三宮から大阪ミナミを経て奈良まで乗り換えなしで移動可能な利便性が高まったように。

結局、49対51の僅差で「大阪都構想」は大阪市民に否決された。でも実は、大阪「都」にすると言っているのに大阪「市民」しか投票できなかった。それは、あの投票が実は都構想を争うものじゃなかったから(苦笑)。投票人場券に印字されていた投票名は「大阪市における特別区の設置に関する住民投票」。大阪市に6つの特別区を設けるか否かの投票だった。

浅田 そう、具体的な改革を踏まえて統治機構の変更を提案するならともかく、統治



#### 田中康夫

たなか・やすお ●1956年東京都生まれ。一橋大学法学部卒業。大学在学中に『なんとなく、クリスタル』で文藝賞受賞。長野県知事、参議院議員、衆議院議員を歴任。最新刊は『33年後のなんとなく、クリスタル』。

機構の変更が、二重行政の無駄を一扫する魔法の銃弾であるかのように言うのはおかしい。

田中 勉強部屋がないから勉強できないとダダをこねる子どももだよ。小選挙区制度の時と同じで、制度さえ変えればバラ色になると思い込んでいます。

浅田 堺屋太一あたりに乗せられちゃったんじゃないかな。

田中 だって堺屋は、2年後にもう一度やれば勝てると言ってるくらいだから(苦笑)。実は皮肉にも「橋下ロス」だと嘆いていた産経新聞が投票日3日前に行った世論調査で、都構想賛成・反対の比率が、20代男性は賛成33・3パーセント、反対46・4パーセント、20代女性では賛成17・1パーセント、反対60・0パーセント。高齢者が反対した「シルバーデモクラシー」の衆愚政治だと辛坊治郎は発狂していたけど、実は若

者が投票に行っていたら、もっと反対票は多かったというわけだ。

浅田 若者が橋下を支持してたつてのは嘘だったってことになるね。同様に、若者が安倍政権のタカ派政策を支持してるとても眉唾もの。

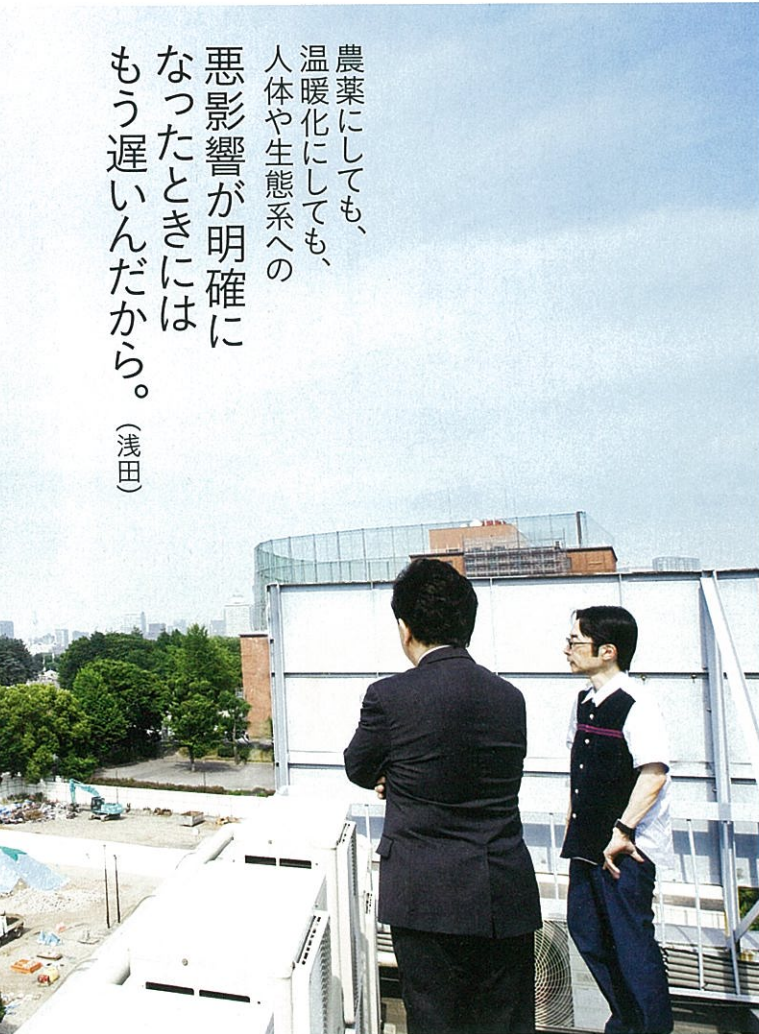
田中 選挙権を18歳以下に引き下げる案を検討する際に、自民党がAKB48の内山奈月を参考人として招致しようと考えたらしいけど、彼女は憲法9条が大事だと『しんぶん赤旗』日曜版にまで出ちゃう子だとして、急遽取りやめたという脱力系な笑話もある(笑)。

浅田 二重行政の無駄への批判、あるいは過剰な原発依存に対する橋下の批判は、それ自体としては正しかった。関西電力なんか橋下退陣で胸をなでおろしてるとすれば、大間違いだよ。ただ、右翼ポピュリズムで改革を強行しようとする橋下の手法にブレーキがかけられたのは、歓迎すべきことだと思ふ。

安倍政権の手法にも橋下と似たところがあるし、現に憲法改悪では橋下の率いる「維新の党」の協力を当てにしていたから、橋下が本当に政界を去るかどうかが「維新の党」が野党再編に舵を切るかどうかはともかく、橋下の失速は安倍にとっても打撃だと思ふよ。

そう言えば、いまの内山奈月同様、衆院憲法審査会で自民党が参考人として推薦した長谷部恭男を含む3人の憲法学者が揃って安全保障関連法案は憲法違反であると断言。集団的自衛権を行使できるとした昨年の閣議決定以来、安倍政権がごり押ししてきた安保法案の行方も、にわかには不透明になってきた。むろん強行採決はできるけど、世論の反発がますます強まるだろうし……。

農業にしても、  
温暖化にしても、  
人体や生態系への  
悪影響が明確に  
なったときには  
もう遅いんだから。(浅田)



田中 その意味では二階俊博総務会長の発言は意味深だ。安保法案の問題で彼は、「国の将来を決する重要な課題だ。議論を重ね、どうしても時間が足りないときはその時、考えればいい」と今国会での成立にはこだわらない考えを表明している。

浅田 そもそも、誰が見ても憲法違反の安保法案をぐり押しするくらいなら、改憲を提起すりゃいいわけよ。

田中 一気に改憲が難しいから、まずは3分の2規定の96条を改正と主張していたのに、それも難しいから10本の法案を一気に審議、というのが王道とは対極の霸道というよりも邪道。本気で改憲したいなら、自衛隊のリスク増大はありえないなどと糊塗せずに、もっと覚悟を持って「改憲の必要性」を国民に語るべきでしょ。

そうそう、『朝日新聞』に興味深いインタビューが載っていたので読んでみるね。「ネット上の言説を見れば改憲論が優勢に見えるけど、それは一部の人が繰り返し言っているから。若い人たちの本音は改憲に賛成する人は多くない。日本に憲法9条があるのは素晴らしいことだと考えています。憲法9条は敗戦のペナルティとして米国から押し付けられたとも言える。だけど、多くの日本人が護憲を言い続けたことで、米国は日本の軍事力を活用できず、困っている。米国が想像もしなかった展開で痛快だ。日本が対米追従の外交を強いられがちな中で、憲法9条は戦争に加わらない口実として数を減らすために、憲法9条はこれからも有効でしょう。日本政府にとっても憲法9条があったほうが都合がいい」。

これは、ネトウヨの聖地としてのイメージが強いニコ生を運営するKADOKAWA

勉強部屋がないから勉強できないとダダをこねる子どもだよな。  
制度さえ変えればバラ色になると思い込んでいる。(田中)



A・DWANGO代表取締役会長の川上量生の発言なんだ。大株主の麻生財閥としては川上を解任しなきゃメンツ丸つぶれじゃないかと都市伝説化しているみたい(笑)。

浅田 それって吉田茂路線だよな。国民の大半は岸信介・安倍晋三の改憲路線より今だに吉田路線を選ぶんじゃないかな。

田中 人を殺しに行くのでなく、人を助けに行く消防・救急の哲学に基づくサンダーバード隊の創設こそ日本の歩むべき道だと、良い意味で単純明快に野党も主張すべきなのにね。

### 食品の廃棄や農薬問題。日本はこのままでいいの？

田中 売れ残った食品の廃棄を禁止する法案がフランスの国民議会で全会一致で可決された。店舗面積が400平方メートルを超えるスーパーマーケットは、賞味期限が

切れそうな食品は早めに値段を下げ、フードバンクなど慈善団体と契約を結んで貧困者のところへ届けるか、家畜の飼料や肥料に転用しなければならぬ。その配送の費用も国が負担する。もともと、EUで25年までに食品の廃棄量を半減させるという目標を立てていたんだけど、今回、それが全会一致で通るフランス国民議会はラブリ

いな翼賛だよな。日本は年間1896万トンの食品を廃棄していて、その量は食品輸入量の約3分の1にもなるのに全然、対策が講じられていない。コンビニでも売れ残りそうな弁当やお握りはタイムセールすべきなのに、それさえできない。

浅田 日本もフランスのような目標を設定すべきだよな。

田中 あと、ミツバチが大量に死ぬ蜂群崩壊症候群で北半球のミツバチが25パーセントも減ったと言われているけど、その原因

と考えられているネオニコチノイド系の農薬の使用をEUは13年に一時的に使用禁止にした。アメリカも先日、環境保護局が新たな使用を原則禁止にする方針を発表した。それに対して、日本は今年5月に厚労省が、ネオニコチノイド系農薬のクロチアニジンとアセタミプリドの基準を大幅に緩和した。ホウレンソウに至っては従来の13倍までOK。言葉は失うよ。

緩和前の05年に群馬県の食品安全検査センターが調べたら、ホウレンソウを2分間茹でて、10秒間冷水にさらしても、クロロピリホスは83パーセントも残留すると。13倍に緩和したら、どんだけ残留するんだよ。シロアリ駆除の防蟻剤としても使用されていたクロロピリホスはシックハウスの原因で、02年の建築基準法改正で建材への使用が禁止になったのに、農水省と厚労省は農薬としていまだに許可しているどころか、13倍に緩和するんだよ。

浅田 ミツバチの問題は温暖化問題と似て、明確な因果関係がわかんないから規制しないって言うんだけど、明確な因果関係がわかんないからこそ用心して止めておくと姿勢が大事なんだよ。農薬にしても、温暖化にしても、人体や生態系への悪影響が明確になったときにはもう遅いんだから。放射線の害についても同じこと。

田中 水俣病もイタイイタイ病も因果関係が証明されていないと強弁し続けて被害者を増大させた。農薬問題も目をすりあげたグリーンピース的な市民運動家だと思っただけで、そうじゃない。無農薬・無施肥でリンゴ栽培する木村秋則氏の季刊紙『農業ルネッサンス』によれば、1haあたりの農薬投下量が日本は18・78KG。中国やアメリカよりも多い世界最大なんだよ。

### 浅田 彰

あさだ・あきら ●1957年兵庫県生まれ。  
京都大学大学院経済学研究科博士課程中退。京都造形芸術大学教授。  
83年に出版されたデビュー作『構造と力—記号論を超えて』はベストセラーに。

